

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年 5月11日現在

機関番号：12602

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2009～2011

課題番号：21390203

研究課題名（和文） アジアのヘルシーシティーにおける地域エフィカシーモデルの適用とプロセス評価

研究課題名（英文） A community efficacy model to evaluate the progress of Healthy Cities in Asia

研究代表者

中村 桂子（NAKAMURA KEIKO）

東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・准教授

研究者番号：00211433

研究成果の概要（和文）：

地域の健康水準には多くの社会的健康決定要因が関係すること、ヘルスプロモーションにおいて重視される市民参加や部門間協力という手法にもとづくプログラムが効果をもたらすことが、数量評価により明らかにされている。また、地域の活動や集団での取り組みが、地域の健康向上に貢献しているであろうことは、ヘルシーシティーなどのヘルスプロモーション政策に関わる種々の質的研究により指摘されている。

この研究は、(1)健康推進や生活の質の拡大をめざす総合的な地域の活動や集団での取り組みが、地域の能力（地域エフィカシー）の拡大にもたらす影響を数量評価し、(2)地域エフィカシーが個人や地域の健康行動ならびに健康水準にもたらす影響を評価してそのメカニズムを解明し、さらに、(3)アジアの諸都市で展開されているヘルシーシティーのプロセス評価指標を開発することを目的にして行った。

以下の要素で構成される地域エフィカシーは、アジアのヘルシーシティー活動の付加価値の評価に有用であり、ヘルシーシティーのプロセスの評価指標と位置づけられる。(1)共同体エフィカシー、(2)政策的エフィカシー、(3)地域活動に関する価値観、(4)健康行動・ライフスタイル、(5)地域のヘルシーシティー活動、(6)地域活動団体、(7)推進事業。ヘルシーシティー活動の評価における以下の6領域の評価枠組みを明らかにした。(1)組織・計画・政策、(2)健康都市プロフィール、(3)事業活動とその成果、(4)ヘルスインプクトアセスメント、(5)地域開発・住民参加・地域エフィカシー、(6)地域人材育成。

研究成果の概要（英文）：

Advantage to plan and implement Healthy Cities initiatives has been addressed by quantitative and qualitative measures in the last 20 years. Social determinants of health, community participation, intersectoral collaboration, health in all policies had been addressed as essential component of Healthy Cities plan and implementations. Selected evidence showed the effectiveness of these elements of Healthy Cities approach. It has been addressed community level efficacy plays a role to improve the quality of initiatives and effectiveness of the programs, separate from individual efficacy for health promotion. This research project studied components of community efficacy in the context of Healthy Cities in Asia, analyzed its role in promotion of community activities for health promotion and tighten values to the places the people live in. The results of analysis of 160 Healthy Cities programs in 10 countries in Asia indicated the seven areas for evaluation of Healthy Cities: (1) institutional structure, planning, policy; (2) profiles for a healthy city; (3) evaluation of process and outcome of individual projects; (4) health impact assessment; (5) value to health and community; (6) capacity building in communities.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	4,800,000	1,440,000	6,240,000
2010年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000

2011年度	4,100,000	1,230,000	5,330,000
年度			
年度			
総計	13,800,000	4,140,000	17,940,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：社会医学・公衆衛生学・健康科学

キーワード：健康決定要因、政策評価、健康都市、地域参加、健康支援環境、ヘルスプロモーション

1. 研究開始当初の背景

地域の健康水準には多くの社会的健康決定要因が関係すること、ヘルスプロモーションにおいて重視される市民参加や部門間協力という手法にもとづくプログラムが効果をもたらすことが、数量評価により明らかにされている。

研究代表者らはヘルシーシティの指標による計測研究、健康決定要因に関する研究、要素プログラムの介入アウトカム評価などの一連の研究を行ってきた。健康を重視するまちづくり（ヘルシーシティ）の取組が市民の健康増進ならびに、個人の健康技量の拡大を測定する研究(Nakamura, 2003; Ziersch, 2003)、ならびに、政策決定のプロセスの分析研究が行なわれ(de Leeuw, 1999; Takano, 2003)、ヘルシーシティの取組の付加価値が多角的に分析されている。しかし、ヘルシーシティの特徴である、政策形成や実践において市民が個人としてだけでなく、集団で積極的に関与するということが、どのようなメカニズムで市民の健康や生活の質、環境の質にポジティブな影響をもたらすのかという点について、分析のフレームワークが提示されてこなかった。一方、Collective Efficacy（共同体エフィカシー）という概念がZeeらにより提唱され(2003)、ヘルスプロモーションの政策決定、実践、推進を決定する要因のひとつとされている。この理論では共同体全体が備える技量や資源を計量して評価するものであり、個人の健康行動ならびに健康水準、個人の健康エフィカシーにも影響をもたらすものとされている。本研究では、ヘルシーシティにより拡大される地域のエフィカシーを計測する手法を開発し、これが個人と地域の健康水準を高めることにどのように寄与しているかそのメカニズムを解明し、世界各地、特に近年ア

ジアにおいて拡大しているヘルシーシティにおける効用のメカニズムを明らかにしようとする研究である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、（１）健康推進や生活の質の拡大をめざす総合的な地域の活動や集団での取り組みが、地域の能力（地域エフィカシー）の拡大にもたらす影響を数量評価し、（２）地域エフィカシーが個人や地域の健康行動ならびに健康水準にもたらす影響を評価してそのメカニズムを解明し、さらに、（３）アジアの諸都市で展開されているヘルシーシティのプロセス評価指標を開発することにある。

3. 研究の方法

まず、ヘルシーシティの評価に関するレビューを行い、次に、アジアのヘルシーシティ研究のネットワークを活用し、日本、韓国、ベトナムにおいて、キーインフォーマントインタビュー調査を行った。

さらに、ヘルシーシティにおける高齢者の健康で自立した生活を支援する地域の医療、介護、福祉資源の量とその機能の評価方法を検討した。

アジアのヘルシーシティ研究のネットワークを活かし、（１）日本、韓国、香港における、地域エフィカシーの調査を行い、健康都市観を構成する要素の分解を行った。（２）さらにベトナム国フエ市において、ヘルシーシティの枠組みにおける市場の衛生改善地区事業を行い、地域住民の健康知識、衛生知識、健康観、健康都市観を、市場の衛生改善事業の前後において評価した。（３）また、愛知県尾張旭市、香川県綾川町における高齢死亡者の死亡前12か月の医療と介護サービス利用のパターンを分析した。（４）調査結果に基づき、ヘルシーシティにおける地域エフィカシーと個人の技量、健康行動と健康水準との相互関連性を検討した。

ヘルシーシティー指標による地域資源静態評価指標、動態評価指標による分析を行った。地域住民の健康知識、衛生知識、健康観、健康都市観、地域活動の調査による、地域住民のエフィカシー評価を行った。健康都市事業の介入前後における、地域健康度の評価を行い、健康決定諸要因の寄与、地域エフィカシー、活動寿命の改善を明らかにした。

4. 研究成果

ヘルシーシティーに取り組むことによる効果の測定において、以下の要素から構成される「地域エフィカシー」の計測が有用であることが明らかになった。(1)共同体エフィカシー、(2)政策的エフィカシー、(3)地域活動に関する価値観、(4)健康行動・ライフスタイル、(5)地域のヘルシーシティー活動、(6)地域活動団体、(7)推進事業。

都市間連携によるヘルシーシティー活動の効用を分析した結果、各都市が独立にヘルシーシティー活動を行う場合に加え、都市間連携による付加的エフィカシーが存在し、独立した評価が必要であることを明らかにした。

高齢者の健康で自立した生活の支援環境の評価のための、地域の医療、介護、福祉資源の量と、その相互関係性の評価の指標を明らかにした。

地域のヘルシーシティー活動の活動水準が、共同体エフィカシー、政策的エフィカシーとの相互関係、地域活動に関する価値観、健康行動・ライフスタイルの変容に、共同体エフィカシー、地域のヘルシーシティー活動の水準との関係を示した。高齢期の医療サービス、介護サービスの利用状況と、利用可能な社会資源の質と量との関係を示した。

ヘルシーシティー活動の評価における以下の6領域の評価枠組みを明らかにした。(1)組織・計画・政策、(2)健康都市プロフィール、(3)事業活動とその成果、(4)ヘルスインプクトアセスメント、(5)地域開発・住民参加・地域エフィカシー、(6)地域人材育成。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

Morita A, Takano T, Nakamura K, Kizuki M, Seino K. Contribution of interaction with family, friends and neighbours, and sense of neighbourhood attachment to survival in senior citizens: 5-year follow-up study. *Social Science*

Medicine. 2010; 70: 19-23.

Nakamura K. A Network of Cities Expands a Movement for Better Urban Health. 1st Seongbuk International Conference on Healthy Cities - Health For All 2009; 12: 1-5.

Suresh M, Nakamura K. Comparing the cost of electricity sourced from a fuel cell-based renewable energy system and the national grid to electrify a rural health centre in India: A case study. *Renewable Energy: An International Journal*, 2011; 36: 2978-2983.

Koet P, Nakamura K, Morita A, Kizuki M, Seino K, Takano T. Non-hospital programs and early diagnosis to lessen cost while achieving treatment success of tuberculosis. *Int J Tuberc Lung Disease* 2012; 16: 828-834.

[学会発表] (計7件)

Morita A, Takano T, Nakamura K, Kizuki M, Seino K. Contribution of the sense of place to survival: 5-year follow-up study among senior citizens. American Public Health Association 137th Annual Meeting 2009.11.9 米国・フィラデルフィア

Nakamura K. (Invited lecture) Lessons from Healthy Cities in Asia for intersectoral action (ISA) on health. An Expert Consultation on Intersectoral Action (ISA) in the Prevention of Noncommunicable Conditions (NCCs) 2009.9.23 神戸

Nakamura K. (Invited special lecture) A Network of Cities Expands a Movement: Features of the Alliance for Healthy Cities and Its Prospects. 1st Seongbuk International Conference on Healthy Cities 2009.8.28. 韓国・ソウル市

Nakamura K. (Invited lecture) Healthy Cities Program in Japan: How Healthy Cities approach makes difference in health and its determinants in cities. Symposium on Urbanization and Health 2009.11.3. 札幌

Nakamura K. Healthy Cities movement to bridge research and practices in public health. The 21st Healthy Cities Symposium 2010.6. Nagasaki

Nakamura K. Evaluation of Healthy Cities. The 4th Global Conference of the Alliance for Healthy Cities 2010.10. Seoul

中村桂子. 都市間交流を通じて深化する地域プログラム. 「グローバルヘルスと日本の公衆衛生」第70回日本公衆衛生学会 2011.10.21. 秋田

〔図書〕(計3件)

Nakamura K. Views on scaling up and expanding Healthy Cities in the Western Pacific Region. Report of the Working Group on Scaling Up and Expanding Healthy Cities in the Western Pacific Region. The Alliance for Healthy Cities 2010.

Nakamura K. A network of Healthy Cities in Asia and the Pacific: the Alliance for Healthy Cities. In: Asian Perspectives and Evidence on Health Promotion. Springer 2011: 155-161.

中村桂子 地域再生モデルとしての健康都市づくり(東日本大震災の普及・復興への提言) 技報堂出版 2012: 79-90.

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中村 桂子 (NAKAMURA KEIKO)

東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・准教授

研究者番号: 00211433

(2) 研究分担者

清野 薫子 (SEINO KAORUKO)

東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・講師

研究者番号: 10508336